

水道用バルブに予防保全型の維持管理を

～定期メンテナンスの重要性と水道事業体の取り組み～

管路システム全体を見据えた強靱化や、長寿命化による基盤強化を図る上で、水道用バルブについてもアセットマネジメントの視点による予防保全型の維持管理が重要であることは論をまたない。バルブは部品点数が多い機械設備で、その性質上、定期的な点検と部品交換などのメンテナンスを必要とするが、この重要性に関する考え方に差異が見られるのが現状。そこで、本紙はバルブのメンテナンスの重要性を改めて喚起する特集を企画した。本特集では、バルブメーカーの専門的視点で、メンテナンス事業にも注力している清水合金製作所の考え方、現場で感じる課題、今後の目標などを紹介するとともに、官民連携も活用しながら積極的に取り組む水道事業体の声をルガ取材記事で紹介する。

清水合金製作所の視点

代表取締役社長

小田 仁志氏に聞く



コミュニケーション起点に

お客様との信頼関係深め

「健康診断」でトラブル未然に
水道用バルブを定期的にメンテナンスする意義について。
小田社長 水道用バルブは設置後、数十年もの長期にわたって利用されます。水道用は基本的に、開閉状態で常時運用されるため、メンテナンスを行わなければ、バルブの性能が徐々に低下していき、最終的には閉鎖状態が維持できず、漏水や断水の原因となります。また、いざ閉鎖作業を行う段階で異常に気付くことになり、水質は場所によって微妙に異なることもあり、管内のバルブが閉鎖されると、水質が著しく悪化し、飲料水としての利用が困難になります。そのため、定期的なメンテナンスを実施することが重要です。メンテナンスは、バルブの性能を維持し、漏水や断水を防ぐだけでなく、水質の悪化を防ぐことにもつながります。また、メンテナンスを行うことで、バルブの寿命を延ばすことができ、コスト削減にもつながります。メンテナンスは、水道事業体にとって重要な取り組みであり、お客様との信頼関係を深めるためのコミュニケーションの起点となるべきです。



インタビュー

藤野 弘樹氏に聞く

生産技術・メンテナンス課長(取材当時)

メンテで新品同様の性能に

人材育成し組織力底上げも

「バルブ製のメンテナンスに関する水道事業体のニーズについて」
藤野課長 当社がメンテナンス業務を受託するバルブは、緊急遮断弁や減圧弁、二側方弁を調整する流量調整弁(フレンジャーバルブ)が大半を占めます。配水池の出口配管設置する緊急遮断弁は、地震などの緊急時に確実に動作する必要があります。一方、減圧弁やフレンジャーバルブは、常に正確な動作を維持する必要があります。メンテナンスは、バルブの性能を新品同様の状態に戻すだけでなく、組織力底上げも重要な取り組みです。メンテナンスを行うことで、バルブの性能を維持し、漏水や断水を防ぐだけでなく、水質の悪化を防ぐことにもつながります。また、メンテナンスを行うことで、バルブの寿命を延ばすことができ、コスト削減にもつながります。メンテナンスは、水道事業体にとって重要な取り組みであり、お客様との信頼関係を深めるためのコミュニケーションの起点となるべきです。

水道事業体の実施事例

杉戸町(埼玉県)



耐震性貯水槽の維持管理を委託

「飲料水やその他の生活用水を確保する手段として、耐震性貯水槽を設置している自治体は増加しています。耐震性貯水槽は、地震発生時に水を貯蓄し、断水を防ぐ重要な設備です。しかし、耐震性貯水槽の維持管理は、専門的な知識と技術が必要であり、自治体単独で行うことが難しい場合があります。そこで、耐震性貯水槽の維持管理を専門業者に委託する事例が増えています。委託することで、専門的な知識と技術を活用し、耐震性貯水槽の性能を維持し、漏水や断水を防ぐことができます。また、委託することで、コスト削減にもつながります。耐震性貯水槽の維持管理を委託することは、水道事業体にとって重要な取り組みであり、お客様との信頼関係を深めるためのコミュニケーションの起点となるべきです。

南アルプス市(山梨県)

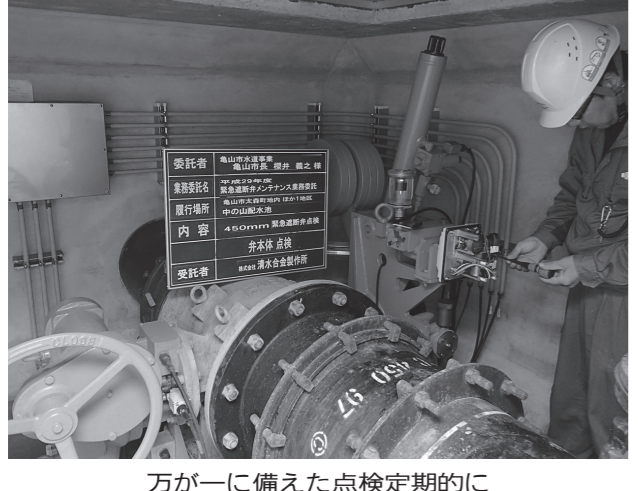


緊急時の対応迅速化へ



プランジャーバルブの配線部をチェック

「緊急時の対応迅速化へ」
点検報告を更新計画に反映
巨大地震も想定される状況下、配水池の点検は、水道事業体にとって重要な取り組みです。点検を行うことで、配水池の性能を維持し、漏水や断水を防ぐことができます。また、点検を行うことで、配水池の寿命を延ばすことができ、コスト削減にもつながります。点検は、水道事業体にとって重要な取り組みであり、お客様との信頼関係を深めるためのコミュニケーションの起点となるべきです。



定期的に点検したバルブ